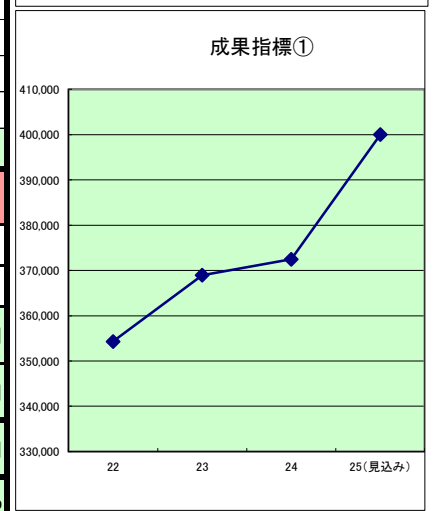
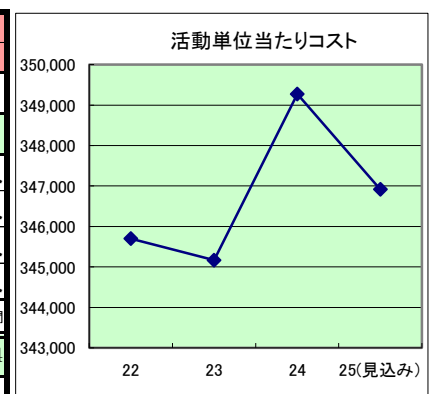


事務事業名		総合スポーツセンター管理運営事業		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	4	魅力ある地域社会を拓く活力あるまち		款	10	教育費
	施策(節)	4	市民スポーツ・レクリエーション		項	6	保健体育費
	施策の方向	(3)	施設の有効活用と効率的な管理運営		目	3	体育施設管理運営費
関連する計画等				事業	1	総合スポーツセンター管理運営	
				作成部署	教育委員会事務局生涯学習室スポーツ振興課		
				(連絡先)	072 - 958 - 1111 内線 4411		
事業の概要(目的・内容)		総合スポーツセンターはびきのコロセアムを有効活用し、市民をはじめとする利用者の競技スポーツ・生涯スポーツ・生涯学習等の場として提供する。また、全国規模の大会等(平成24年度は世界卓球代表選考会)を誘致し、知名度アップも図っていく。はびきのコロセアムは、平成9年10月に竣工し、「なみはや国体」ウェトリフティング会場としてスタートした。当初は市直営で管理運営を行っていたが、平成18年度より指定管理制度を導入し、その管理運営の業務を指定管理者により行っている。					
根拠法令等		スポーツ基本法・羽曳野市立総合スポーツセンター条例					
事業期間		☒ 10 年以上 ☐ 5 年以上10年未満 ☐ 5年未満 (平成 年度開始)					
事業開始時からの状況変化		経年劣化による施設の修繕箇所が多く、かなりの予算が必要。平成18年度より指定管理者制度導入					
実施手法		☐ 直営 ☐ 一部委託 ☒ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()					
委託先		☒ 市外郭団体委託 名称(羽曳野市施設管理公社)		委託内容 施設の管理運営業務(関係する業務を含む)			
		☐ 民間委託 ☐ その他					

区 分		22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込み)
事業費【1】		122,835	122,835	122,974	121,616
人件費【2】		1,272	1,080	2,415	2,928
職員数	正規職員	0.17 人	0.15 人	0.35 人	0.37 人
	再任用職員	人	人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	0.02 人	人	0.00 人	0.15 人
	臨時職員	人	人	0.00 人	0.00 人
超過勤務(参考)		0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費【(1)+(2)】【A】		124,107	123,915	125,389	124,544
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他(使用料・手数料等)	6,565	6,383	4,199	4,000
一般財源【B】		117,542	117,532	121,190	120,544
活動指標【C】		22年度	23年度	24年度	25年度 (見込み)
① 開館日数		359	359	359	359
② スポーツ教室数		11	11	11	11
活動単位当たりコスト (【A】÷【C】①)		345,702 円	345,167 円	349,273 円	346,919 円
活動単位当たり一般財源額 (【B】÷【C】)		327,415 円	327,387 円	337,577 円	335,777 円
市民1人当たりコスト (【A】÷人口)		1,051 円	1,058 円	1,076 円	1,073 円
一般財源【B】の推移(前年度比)			▲ 0.0 %	3.1 %	▲ 0.5 %
※前年度比5%以上変動している要因(該当する場合のみ ☒)		☐ 1. 制度改正・事業の見直しなど ☐ 2. 左記1によらない対象件数などの増減 ☐ 3. 物価・賃金水準などの変動 ☐ 4. 国庫支出金など特定財源の増減 ☐ 5. その他()			
※該当項目すべてに ☒					



成果指標 (事業の達成度)	指標名		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	①	総合スポーツセンターの利用者数	人	400,000	400,000	400,000
	(式又は説明)	目標			達成率(%)	400,000
		実績	354,288	368,949	372,451	93.1%
	②				達成率(%)	
	(式又は説明)	目標				
		実績				

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有
	○	○				○	○		○	

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い（事業の拡充・継続の要望がある、又、活動指標が増加傾向にあるなど）	☒	☐	☐	羽曳野市のスポーツ拠点施設として、無くてはならない施設である。
		市民ニーズと比較してサービスの対象範囲や水準が適切か	☒	☐	☐	
		他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☒	☐	☐	
		事業を縮小、又は廃止・休止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐	
	効率性	活動単位あたりコストが適切である（経年比較など）	☒	☐	☐	指定管理者とともに、施設の効率的な運営方法を検討し、事業費削減につながる案を考え積極的に取り組んでいく。
		使用料・手数料等の受益者負担の割合は適当である	☒	☐	☐	
		人員を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		事業費を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		国・府の事業や市の他事業と重複していない	☒	☐	☐	
市の他事業との統合や、事業の簡略化の余地がない		☒	☐	☐		
民間活力（民間委託、NPO・ボランティアなど）の活用について検討の余地がない（すでに活用しており、拡大の余地はないを含む）		☐	☐	☒		
協働性	事業の企画や実施にあたり、市民の意見を反映しているか、又、参加、協力が得られているか	☒	☐	☐	事業実施にあたり、市民がより一層参加・協力出来るシステムづくりが必要である。	
有効性 達成度	成果指標の実績値は目標値以上である	☒	☐	☐	利用者数も安定しており、今後一層人が集まる事業（市主催事業等）の実施が求められる。	
	成果指標は前年度より向上している	☒	☐	☐		

担当 部局 評価	総合評価	
	☒ 継 続 ☐ 改 善 ☐ 縮 小 ☐ 廃止・休止 （概ね現行どおり継続して実施） （実施方法の改善を検討する） （事業規模の縮小を検討する） （廃止・休止を検討する）	
	今後に向けて（取組方針・具体的な改善改革案など） 施設の改善（施設部分と備品）個所も多く、市民の方々にご迷惑をおかけする部分も多く出てきていることから、少しでも修繕などを行い、利便性を高めていく。また、体育協会を始めとする団体と協議し、大きな大会（全国レベル等）を誘致し、室内スポーツの聖地と言われるような大会運営を行っていく。	
行 革 本 部 評 価	総合評価	
	☐ 継 続 ☐ 改 善 ☐ 縮 小 ☐ 廃止・休止	
	評価理由・意見	